



豊中市教育センター

〒560-0033 豊中市蛍池中町 3-2-1-600

TEL 06-6844-5290

FAX 06-6840-8127

平成22年(2010年)5月28日第43号

若葉のころ



桜舞う中、新しい環境の中で新たなスタートを切った多くの方々がいます。緊張のまま時間が経過し、今緑がまぶしいころとなりました。無意識のうちに学ぶ感性を研ぎ澄まし、大人も子どもも新しい出会いをプラスの方向につなぎたいものです。

この4月からのことですが、通勤途上で、集団登校をしている小学生のグループに出会います。ひとつはとても快活そうな高学年の男の子が先頭に立ち、ランドセルがまだまだ背中に大きい1年生に話しかけながら登校しているグループ。このお兄ちゃんはきっと低学年の子どもたちから見れば楽しくってあこがれの存在なんだろうなと思いながら見えています。もうひとつのグループは同じく高学年の男の子が先頭に立っていますが、お話をするわけではありません。私がこちらのグループに心ひかれたのは、背の高いこのリーダーが何度も後ろを振り返りながら、自分よりずっと小さい低学年の子どもたちに合わせようと、自分の歩幅を調整している姿に出会ったからです。彼のこの心配りは、周囲にはなかなか見えにくいものかもしれません。でも、彼の真後ろで歩いている低学年の子どもには、「大きくなったらこうするものなんだ」とリーダーのモデルとして、きっと引き継がれていくはずと期待しています。二人のリーダーは持ち味を生かしながら、それぞれの場面で自分にできることを精一杯やり、任された役を自分のやり方で果たしていました。先日、近くの街で「ジャズストリート」が開催され、参加してきました。市民による市民のためのイベントとして12年続いているそうです。ここでも活躍していたのは、ごく普通の中高生ボランティア。案内やパンフレットの配布、ごみの処理等、暑いさなか笑顔で接していました。

自らすすんで、あるいは、自分しかいない状況の中で、頼りにされている実感がさまざまな方法で人を成長させることを再認識する場面に出会いました。逆に、誰からもあてにされない環境の中では持てる力をも鈍らせてしまうこともあるのでしょう。

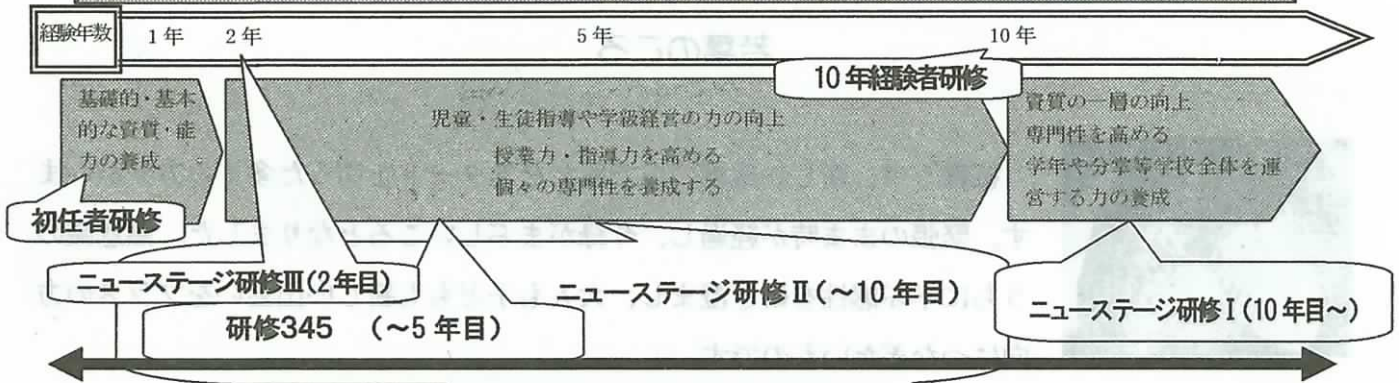
空を見上げると、木々のこずえには柔らかな若葉が風にそよいでいます。この若葉が光合成によって栄養分を蓄え、幹を太くする。私たちはがんばろうとしている人たちに「信頼」や「賞賛」という光を放ち続けたいものです。面識のないおばちゃんから声をかけられたらびっくりするかもしれないけれど、今度出会ったときは、集団登校のリーダーさんに声をかけてみようかと思います。(鈴木)

研修の充実をめざします！

研究、研修係

本年度は若手教員の育成を中心に、それぞれのステージに応じた研修を用意しています。
また、教科・領域の研修につきましても充実させていきたいと思ひます。

多数のご参加、お待ちしております。



豊中市 研究協力員制度

研究協力員 追加募集中！

追加の募集を受け付けています。
この制度の目的は、教育実践力の向上をめざし、先生方がお互いに高め合うところにあります。

先生方が日々の授業に活用できるような教材の開発や授業方法等について、一緒に研究してみませんか？！

報告会は1月6日(木)

教育センターにて実施予定です。
多くの先生方のご参加をお待ちしています。

授業づくりならセンターへ！

教育センター6階ロビーでは、教育図書置いており、閲覧が可能です。普段の授業や研究授業等の参考資料にご活用ください。また本年度は教科書採択にかかわらず、見本本も各社取り揃えていますので、よろしければお立ち寄りください。

教科書展示会 6月4日(金)～

ニューステージ研修Ⅰ

本研修は、教育課題に関する総合的な内容の研修で、原則として10年以上教職経験のある教職員を対象としています。興味・関心のある方は、誰でも参加可能です。ぜひお申し込みください。

第2回 「問題解決スキルに学ぶ ～クリティカルシンキング、ロジカルシンキング、定量的思考を問題解決に取り入れよう～」

※詳細・申込は後日

6月25日(金) 14:30～教育センター

夏期教職員研修会

▼ 8月27日(金) 10:00～
『(仮題) かい枝の これぞ英語落語！
～笑いの異文化コミュニケーション～』

講師：英語落語家 桂 かい枝

場所：アケア文化ホール

※詳細は後日改めて。



看護教育係

6/2 から『障害児教育連続研修』が始まります。

【目的】豊中市立幼稚園、小中学校の障害児教育担当教員の専門性を高めるとともに、障害のある幼児・児童生徒の指導の充実を目指す。

(講座内容は、入門編で計画しています。)

今まで、豊中市の子どもたちに深いかかわりを続けてきていただいている先生方に、講師をお願いしています。今からの参加、1回のみ参加申し込みも可能です。ぜひ多くの先生方に参加いただきたいと思います。

| 回 | 日時 | 研修内容 | 講師等 |
|---|----------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1 | 6/2 (水) | コミュニケーション障害への支援 | 言語聴覚士 吉田 くるほみ |
| 2 | 6/15 (火) | 子どもの捉え方、支援の仕方 ～肢体不自由の子どもを中心として～ | しいの実学園 主任作業療法士 高 容康 |
| 3 | 6/23 (水) | 聴覚障害の子どもへの支援 | 大阪教育大学 教育学部 特別支援教育講座 准教授 井坂 行男 |
| 4 | 7/1 (木) | 子どもの捉え方、支援の仕方 ～自閉症・発達障害の子どもを中心として～ | 臨床心理士 津田 仁美 |
| 5 | 7/9 (金) | 学校における医療的ケア | 市立豊中病院 小児科 部長 松岡 太郎 |

昨年度、学校 ICT 環境整備事業により各学校にさまざまな情報機器が配備されました。今年度は、これらの機器を授業等でどんどんご活用いただければと思っています。

また、例年どおり理科教育研修、理科教材研修等の研修や、科学教室、サイエンスカフェ等の市民向け講座も企画しています。

「子どもと情報機器の関係を考えるセミナー」



市民向け講座ですが、先生方のご参加も歓迎します！

- 日にち 6月26日(土)
 - 時間 ①・②13時～13時40分 ③13時50分～15時20分
 - 会場 豊中市教育センター
 - 内容 ①ICTを活用した模擬授業(市民対象) ②「子どものためのネット社会の歩き方セミナー」(小学5年～中学生対象) ③「保護者のためのネット社会の歩き方セミナー」(市民対象)
 - 講師 ②・③コンピューター教育開発センター 井上勝さん
 - 備考 要事前申し込み(電話、教育センターHP、往復はがき)
- ※ 詳細は広報とよなか6月号または教育センターHP(5月下旬以降)をご覧ください。

「学校情報セキュリティハンドブック」

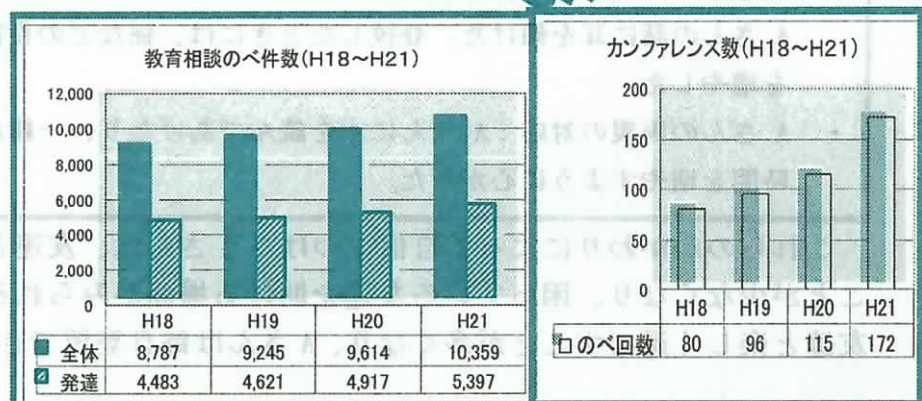
学校やご自宅のPCをウィルスの脅威から守り、個人情報などの大切なデータの漏えいを防ぐために、PC使用上の留意点をまとめた小冊子を作成しました。各学校に導入されているセキュリティサーバの使用方法なども掲載していますので、PCを使われる先生の傍らに置いていただき、ぜひご活用ください。



応援します!! 子ども・保護者・先生方

相談件数 過去最高

昨年度、教育相談の件数は一万件を突破し、その約半数が発達に関する相談でした。また、先生方からも、多くの相談があり、過去最高のケース会議をもちました。



カンファレンスの申込みは管理職を通して 6844-5292 教育相談係まで

今年度も教育相談係では、たくさんの専門職員が子ども・保護者・学校の先生方を応援します。下の機会をはじめ、子ども理解にかかわる悩みの解決に、どんどん活用してください。

- ★巡回相談・・・月曜の午前(9:30～11:30)→子どものようすを見て、先生方の相談を受けます。
- ★ケース会議でのアドバイスや校内研修での講師
- ★教育相談研修 7月26日(月)＜午後＞講演「学校生活と子どもの発達について」
- ★教育相談研修 8月6日(金)＜午前＞講義「教育相談の基礎」～受け入れ感を育むコミュニケーション術～
＜午後＞事例研修「気になる子どもの見立てとその支援」

不登校の子どもへのかかわり～背景を眺めてみると～

Aさんは小学4年生。「友達が仲間に入れてくれないから」と学校を休むようになりました。心配した担任のB先生は、まずはAさんについてよく知ろうと、情報を集めました。

- ・ Aさんは理科と社会は好きだが、国語と算数は苦手。
- ・ 学校での様子：授業中に立ち歩いたり教室から飛び出したりする。
2年生の2学期頃から友だちとのトラブルが多くなった。
(トラブルの内容：Aさんは負けることが嫌いで、遊んでいてもズルをしたり、負けると怒って友だちを叩いたりしてしまう)
- ・ Aさんの両親の対応：仕事で忙しいなか、学校で起きたトラブルについてAさんに注意はしていたが、状況は改善されなかった。

Aさんの不登校の背景には色々なことがあったようです。わからないことや苦手なことが多くて、Aさんは自信をなくしていたのでしょう。負けるとムキになって友達とうまくかわかれず、家に帰っても一人で寂しい思いをしていたのでしょう。B先生はこの情報を元にAさんの両親と話し合い、Aさんへのかかわり方を考えました。



- ・ B先生のかかわり：家庭訪問をした際、Aさんが好きな恐竜の図鑑を一緒にみて、Aさんの話に耳を傾けた。登校したときには、係などの役割を与え、褒める場面を増やした。
- ・ Aさんの両親の対応：Aさんに本を読んであげたり、一緒に出かけたり、楽しい時間を増やすように心がけた。

これらのかかわりによって自信をつけたAさんは、友達との遊びでズルをすることが少なくなり、困っている友達を助ける場面がみられるようになりました。友達と楽しく過ごすことが多くなり、Aさんは毎日登校できるようになりました。

このように、子どもの問題行動だけを見つめず、子どもについてよく知り、背景を眺めてみてはどうでしょうか？その中から支援のヒントが見えてくるように思います。(大房)

* 次号から2回にわたって、子どもの発音について、取り上げる予定です。

～不登校の子どもの背景を知る参考資料として～
『気になる子どもへの支援のヒントー相談事例集ー』 p. 24
大阪府教育研究所連盟 教育相談部会編 豊中市教育センター平成21年(2009年)3月発行